

第5学年 体育科 学習指導案

1 単元名 器械運動「跳び箱運動」

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1	・手本となる動画を見たり、実際に運動したりしながら、技のイメージやポイントを知る。 ・安全に取り組むための準備の仕方、グループ編成・役割分担等
2	2	・W-upのやり方、意義について ・補助の仕方 ・基本的な技（既習技の確認）の習得学習を行う。
3	3～6	・基本的な技（かかえ込み跳び・台上前転・頭跳ね跳び）の習熟学習を行う。 ・発展技にチャレンジする。

3 本時について（5/6）

(1) ねらい

自分に適した課題を見つけ、かかえ込み跳び、台上前転及び首はね跳びができるようになるための工夫ができる。

(2) 評価規準

自己の課題にあった練習場所を選択したり、ICTを活用して仲間の動きのよさを伝えたりしている。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	1 準備 ・安全に取り組めるように跳び箱とマットを準備する。 2 W-up ・うさぎ跳び、カエルの足うち、跳び箱乗り、開脚跳び、三点倒立等 3 あいさつ・全体会 → A君の前時の演技を動画で紹介し、上達した部分と意識をつなげる会にする。	・全員で役割を決めて準備する。 ・班の係を中心に、器械運動に有効な W-up を取り組む。 ・単元の最初で、完成度の高い演技を動画で見たり、前回の取組の結果等から、本時の課題を提示したりする。
	自分の動きを確かめ、かかえ込み跳びや台上前転、首はね跳びができるようになろう。	【ICT活用の工夫】 ・完成度の高い動画を大きな画面で見ることができるよう、課題提示にICTを利用する。 ・前回の動画を再確認し、技がよりよくできるように、本時大切にすることを明確にして課題を設定する。
展開	4 グループ会 ・前時の「発表」時の動画を確認し、本時、特に自分の課題としたい部分を明確にし、グループの仲間にも具体的に伝え、メンバーそれぞれの課題を把握した上で練習に取り組む。 5 前半練習 <かかえ込み跳び> 両足での踏み切り、着手（肘を張る）、膝を胸につける。 <台上前転> 両足での力強い踏み切り、着手、思い切って腰を高く上げる、頭頂部から後頭部が跳び箱に着くようにする。 <頭はね跳び> 両足での力強い踏み切り、跳び箱の真ん中あたりに着手、下半身を思い切って跳ね上げる。	・グループで、お互いの課題やポイントについて声を掛け合ったり、補助したりしながら取り組むよう指導する。
	6 中間研究会 ・上達した子を紹介し、上達した理由について語れるようにする。 ・上達したポイントを「言葉」で表し、課題と意識がマッチすると上達することを実感させる。 7 後半練習 ・かかえ込み跳び ・台上前転 ・首跳ね跳び	【ICT活用の工夫】 ・全体像を撮るだけでなく、手の着く位置や足の位置など、技のポイントとなる部分に注目させる。 ・タブレットを使い、客観的に自分の演技を確かめたり、仲間の演技に対して説明したりする。
終末	8 発表 ・タブレットを用いて、仲間の演技を撮影する。 9 本時の学習を振り返る。（グループ会） ・学習カードに振り返りを記入する。→次の時間への課題設定につなげていきたい。	【ICT活用の工夫】 ・発表会を撮影する。 ・撮影ルールを統一することで、比較しやすいようにする。常に定位置から撮影し、演技の記録を動画として残す。
	10 全体会→あいさつ→片付け	・発表後、誰のどこが上達したのかを明確にするグループ会・全体会にする。